

千葉放課後連ニュース No. 4

平成29年
9月1月合併号



今こそ、一人の百歩より百人の一步を！

千葉放課後連会長 園山 満也

たくさんの事業所の立ち上がりの中で、子どもたち一人ひとりをどのように理解し、どのような活動が求められているのか模索が続けられています。この問題は一朝一夕に解決できるものではありません。それどころか事業所が続く限り探求し続けなければならない課題だと思います。当たり前のことですが、子どもたちは一人ひとり違った障害や個性を持ち、ことばや行動パターンや生活環境の違いなどとても複雑な存在です。一つのマニュアルで事が済むというわけにはいきません。一人ひとりの子どもたちに寄り添いながら、社会性や集団性をどのように育てていくのか、学校や家庭や塾等と違った「放課後活動」の持つ独自の課題があります。この課題は歴史の浅い放課後等デイサービス事業の全体で定式化され内容が明らかになっている訳ではなく、これから模索し探求されなければならない課題だと思います。長い歴史を持つ、経験豊富な事業所から学ばなければならぬこともたくさんあるでしょう。しかしそのような事業所といえども様々な課題を抱えながら実践が進められているのです。国民の税金で運営されている放課後等デイサービス事業であることを考えると、私たちの日々の実践や子どもたちに対する働きかけの内容は保護者や国民が納得のいく内容でなければなりません。内容を常に詳らかにできるようにし、かつその根拠を示せるようにしておかなければなりません。このことは非常に困難を伴うことですが、それぞれの事業者が強く肝に銘じておかなければ、基盤の脆弱な放課後等デイサービス事業は、社会的な批判を浴びるようなことが起こればひとたまりもないでしょう。そのためにはそれぞれの事業所の確固とした自覚とともに事業所間の情報の共有や実践の交流、疑問に思っていることの見解の交換などが絶え間なく行われ、事業者や事業所で働く職員の日常的な資質の向上がめざされなければならないのではないのでしょうか。

今各地域で横の連携を模索する動きが起こっています。

一人の百歩よりも百人の一步を大切にす思想と子どもたちの笑顔は何よりも大切にす放課後等デイサービス事業になるように期待しています。

総会報告

開催日時
開催場所
参加者
内容

平成29年5月14日(日)
淑徳大学 千葉キャンパス内
68名(内委任状25名)
平成28年度事業報告会計報告、29年度事業計画予算役員改選について討議、決議がなされた。会場をお借りすることが出来て時間に追われることなく、また十分に空間のある会場で討議も活発で十分な時間をとることが出来た。参加者も年々増え500以上ある事業所のうちの2割ほどが会員で、「子どもたちの笑顔のために」を合言葉に多様性を担保しながら放課後休日活動の支援者としての専門性をさらに力を合わせて磨いてゆこうという決意を新たにいたしました。

ご来賓

千葉県障害福祉事業課
課長 岡田慎太郎様より
ご挨拶いただきました。



研修報告

No.15研修会

総会終了後同日開催 80名参加 「私たちの思い！子どもたちの未来！」
千葉県内で放課後休日活動を実施している事業所に自分たちの関わりの原点を振り返りながら各事業所の特色ある実践を報告(話題提供)してもらい事業所案内・理念・実践内容少人数グループで各参加者が相互に自分の事業所の特色課題を発表し合い、グループごとに発表する。最後に助言者より全体講評と助言を頂き、今後の支援のあり方を再考するヒントを各自持ち帰れるようにする。普段は会えない事業所間交流が出来、悩みを話し合えたことが大きな一歩。同じ放課後活動を支援する人としての仲間がふえた。

No.16研修会

9月16日千葉市きぼーる千葉市保健センターにて40名「始めてここで仕事をするあなたへ」
講師 株式会社ベストサポート代表取締役竹嶋信洋様(千葉放課後連前年度役員)
ご自分の事業所の例を引きながら社会人としての心構えや子どもの成長にかかわる仕事の意義や楽しみを話していただいた。

千葉放課後連の研修の大テーマは「子どもたちの笑顔のために」とし毎回対象者やその回のテーマを決めています

研修予定

No.17研修会

「根拠に基づく支援①」 中堅職員向け
11月19日(日) 10:00から16:30

淑徳大学にて

根拠となるもの「法」「障害そのもの知識、理解」「放課後休日活動の基本的な理念」
「根拠に基づく支援②」 管理的職員向け

淑徳大学にて

No.18研修会

1月28日(日) 10:00から16:30

3月18日にはメディアエッグにて映画上映会開催 乞うご期待

法改正とガイドライン活用

事業所紹介

NPO法人たからばこ みんなの森

住所: 南房総市府中662-2
事業内容: 放課後等デイサービス、児童発達支援
利用定員: 10名/日
開所時間: 9:00~18:00
開所日: 月~土曜(土曜は第1・3のみ開所、祝日は閉所)



南房総市のとても素敵な事業所を紹介致します。

☆縁側でお好み焼き☆

自然豊かな環境の中、民家を改装した建物を利用しているため、まるで祖父母の家に遊びに来たような雰囲気事業所です。利用者さん、ご家族、地域の方々、関係機関、みんなの森に関わるすべての方に「みんなの森があってよかった」と思っていただけることをテーマに活動しています。



活動内容の詳細はホームページをご覧ください!!
<https://minnano-mori.wixsite.com/mysite>

千葉県総合支援協議会療育専門部会委員として

「障害のある子どもの未来を創造する」ために

私ども「アフタースクールセンター・ウェル(以下、当事業所)」は、平成27年3月に開所しました。開所当初は、放課後等デイサービス事業所としてスタートしましたが、平成29年4月より児童発達支援事業所としてもスタートし、18歳までの子ども達に対して支援を提供しております。当事業所のスローガンは、「障害のある子どもの未来を創造する」ことを掲げており、学校生活を終え社会へ出て行く際に子ども達自身が「毎日が楽しい」と思ってもらえるよう、様々な経験を積める事業所を目指しております。また、私自身が身体障害者ということもあり、当事業所は身体障害児、特に肢体不自由児の受け入れを積極的に行っております。日本は少子・高齢社会となっている中で、障害児の人数は増加しております。その理由として、発達障害と診断される子どもが年々増加していることが挙げられます。その子ども達の支援の重要性も影響し、放課後等デイサービス事業所は急激な勢いで増加しております。しかし、身体障害児や重症心身障害児の受け入れる事業所はあまり増えていない現状があります。今回、私は平成29年度千葉県総合支援協議会(第六次千葉県障害者計画策定推進本部会)療育支援専門部会の委員になりました。私自身のこれまでの経験や当事業所の子どもの様子を踏まえ、すべての「障害のある子どもの未来を創造する」ために提言していきたいと思っております。



一般社団法人ソーシャルサポートアクション・ルーツ アフタースクールセンター・ウェル 代表理事/管理者 江ヶ崎 健雄

おでかけスポット

道の駅 くりもと

住所 香取市沢1372-1 豊かな自然と旬の味覚が盛りだくさん!
営業時間 9:00~18:00

夏休みの体験 ザリガニつり

貸し竿無料(えさ付) つれなかった!
持ち帰り 1匹20円

ブルーベリー摘 入場料 大人500円・子ども300円

芋ほり体験・稲刈り体験・味噌づくり・こんにやくづくり
子どもが遊べる遊具あり



メロンソフト 1つ500円
夏のお勧め!



広報部員紹介 大切にしていることは?

・山平 裕美子 (ぬくもりの里たんぼぼ) いっぱい笑うこと バレーボール
・大野晃 (にじと風)

・藤田 良子 (ぬくもりの里たんぼぼ) 生命 家族・孫と過ごす時間
・吉野眞里子 (にじと風)

4名です

編集後記

昼夜の寒暖の差も大きくなり、冬の訪れを感じる頃となりました。気づけば今年も残り1ヶ月。夏休みが終わったと思っていましたが、冬休みの計画を考えなくてはならないのですね。当法人では、『ふれあいまつり』をおこないました。ヨーヨー、コリントゲーム、魚釣り、射的、もぐらたたきに輪投げスタッフ手作りの屋台が並びたくさんの家族が遊びに来てくれました。みんなが大喜びで楽しんでくれていた姿が見れ来年が楽しみにになりました。 山平記